

2011年11月25日

NPO 法人ダ・ヴィンチ ミュージアム ネットワーク

「レオナルド・ダ・ヴィンチ ワークショップ キャラバン 2011」実施報告書

1. 開催趣旨「科学・技術・芸術を考える3日間」

偉大な芸術家であり、また科学者・工学者として優れた才能を持ったレオナルド・ダ・ヴィンチは後世の私たちにいつまでも大きな刺激を与え続けています。

本ワークショップ キャラバンでは、日本・イタリア・アメリカの著名人を迎え、ダ・ヴィンチが成し遂げた芸術と科学・工学の融合の成果を、講演と体験（ワークショップ）で感じていただき、未来に活かす方法について考えていくことを目的としています。

そしてそのダ・ヴィンチの心が関西の活性化結びつくことを期待しています。

2. 実施結果概要

(1) けいはんな先端技術トップセミナー

「今後の科学技術はどうあるべきか ダ・ヴィンチから学ぶもの」

日時：2011年11月2日（水）14：00～16：00

場所：けいはんなプラザ 交流棟5階「ボルガ」

（京都府相楽郡精華町光台1-7）

開会挨拶：（財）関西文化学術研究都市推進機構 常務理事 稲田進氏

第一部 講演会 「今後の科学技術はどうあるべきか・・・ダ・ヴィンチから学ぶもの」

講師 フィオレンツォ・ガッリ氏

（レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館長）

第二部 座談会 「今後の科学技術はどうあるべきか・・・震災から学ぶもの」

座長 ・藤田正憲氏（ダ・ヴィンチ ミュージアム ネットワーク 理事長）

・フィオレンツォ・ガッリ氏

（レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館長）

・浅田稔氏（大阪大学大学院教授）

閉会挨拶：武藤成生氏（ダ・ヴィンチ ミュージアム ネットワーク 副理事長）

参加者：74名

(2) 寝屋川市 講演会とワークショップ

「科学技術に目覚める子どもたちを育む地域連携フォーラム」

① 【講演会】

日時：2011年11月3日（木）9：30～12：30

場所：大阪府立大学高専 図書館2階視聴覚大ホール

（寝屋川市幸町 26-12）

開会挨拶：葭谷安正氏（大阪府立工業高等専門学校 副校長）

来賓挨拶：フランコ・コローナ氏

（イタリア文化会館長代理として、立命館大学文学部客員教授）

来賓挨拶：市川克美氏（寝屋川市ブランド戦略室長）

基調講演：「現代の科学技術に通じるレオナルド・ダ・ヴィンチの魅力」

講師 フィオレンツォ・ガッリ氏

（レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館長）

講演：「寝屋川・大阪の魅力とそのブランド力」

講師 橋爪紳也氏（大阪府立大学21世紀科学研究機構 教授）

教育実践報告・「北河内における教育活動を通じた地域貢献」

講師 東田卓氏（大阪府立工業高等専門学校 教授）

・「総合的な科学技術力を育成する実験実習」

講師 土井智晴氏（大阪府立工業高等専門学校 准教授）

閉会挨拶：藤田正憲氏（ダ・ヴィンチ ミュージアム ネットワーク 理事長）

参加者：100名

② 【ワークショップ】「ダ・ヴィンチのスケッチにもとづいて考案されたロボット兵士」

ダンボールを利用して動くロボット兵士の製作を実施

日時：2011年11月3日（木）13：30～16：30

場所：大阪府立大学高専 図書館2階ゼミナール室

（寝屋川市幸町 26-12）

講師（開会挨拶） フィオレンツォ・ガッリ氏

講師（閉会挨拶） 金田忠裕氏（大阪府立工業高等専門学校 准教授）

参加者：30名

(3) 大阪市「世界ものづくりサミット2011」の公開シンポジウム

未来生活における最先端技術について、企業や研究機関等の取り組み事例をテーマ毎に講演し、ロボットテクノロジーや先端技術を活用したものづくりの将来の可能性についてパネルディスカッションを実施

日時：2011年11月4日（金）13：00～16：30

場所：梅田スカイビル 36階 スペース 36L

開会挨拶：鍵田剛氏（大阪市経済局長）

開会挨拶：馬場章夫氏（大阪大学副学長）

コーディネーター：浅田稔氏（大阪大学大学院教授）

基調講演

テーマⅠ：「QoLTとその都市への展開」

・講演者 金出武雄氏（米国カーネギーメロン大学教授・QoLTセンター長）

「QoLTの開発と展開～ピッツバーグの経験」

・講演者 萩田紀博氏（ART知能ロボティクス研究所長）

「クラウドネットワークロボティクスによるうめきた展開」

テーマⅡ：「未来医療のあり方」

・講演者 Yulun Wang氏（米国 InTouch Health 代表）

「Remote Presence and Telemedicine」

・講演者 梅垣昌士氏（大阪大学医学部附属病院みらい医療センター准教授）

「うめきたでの『まちなか未来医療』」

テーマⅢ：「サイエンス&テクノロジー・デザイン・アート」

・講演者 フィオレンツォ・ガッリ氏

（レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館長）

「Future Life supported by Science/Technology and ART」

パネルディスカッション：講演者全員とマッスル(株)玉井代表取締役が参加

会場からの質疑応答を含めパネル討論

参加者：81名

(注) ガッリ館長がミラノ市長から預かってきた手紙は、世界ものづくりサミットの開会前にガッリ館長から鍵田大阪市経済局長に手渡された。